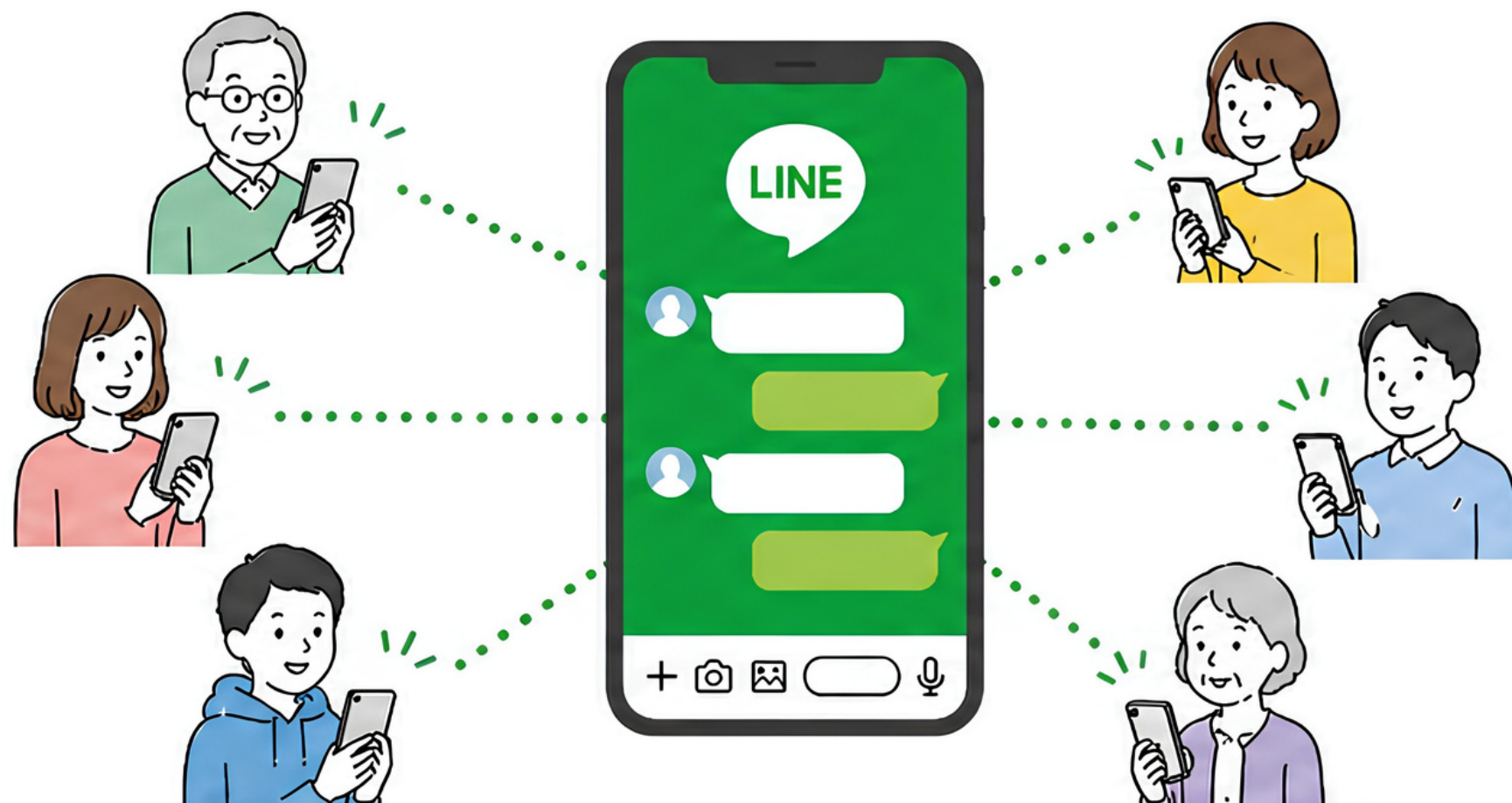


ここからはLINEについて

活用ガイド P4

身近で使いやすい連絡ツールです



- メッセージや写真、通話などで人とつながれる。
- 多くの人に使われていて、普及率が高い。
- 町内会・自治会でも活用しやすい。
- 家族や友人との連絡にも、地域のお知らせにも使える。



町内会・自治会で使うと…

- ✓ 急なお知らせを早く伝えやすい
- ✓ 役員同士で相談しやすい
- ✓ 紙の連絡を補いやすい



月間利用者数

1億ユーザー

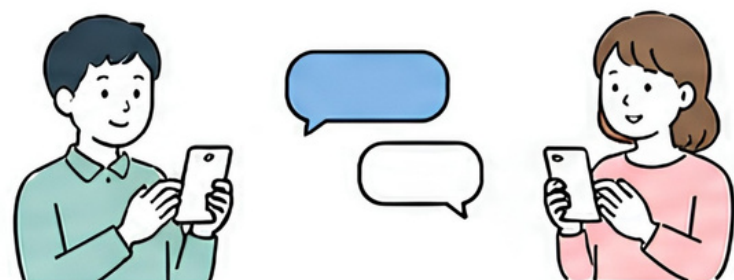
2025年12月時点
参照：LINEヤフーマーケティングキャンパス

LINEの連絡方法は4つ

活用ガイドP5

誰に・何を伝えたいかで選びます

1 通常トーク



1対1の個別連絡に

例) 個別連絡・相談・出席確認など

2 グループトーク



関係者同士の相談・
情報共有に

例) 役員連絡・行事準備など

3 LINE公式アカウント



多くの人への
お知らせ配信に

例) お知らせ配信・イベント案内など

4 オープンチャット



友だち追加不要
情報共有に

例) 地域情報の共有・交流など



大切なのは、“誰に・何を伝えたいか”に合わせて選ぶことです

すべてを一度に使う必要はありません。目的に合う方法から少しずつ取り入れてみましょう。

4つの連絡方法を比べてみる

活用ガイドP20

特徴の違いを知ると選びやすくなります

比較項目	通常トーク	グループトーク	LINE公式アカウント	オープンチャット
やり取りの形	1対1	複数人で会話	一斉配信中心。 個別チャットも可	参加者同士で会話
主な相手	家族・友人・知人	顔の見える関係	友だち追加している人	地域の参加希望者 テーマに関心ある人
向いている使い方	1対1の個別連絡	役員・班長・ 担当者同士の連絡	多くの人への お知らせ配信	地域の情報交換
個人情報の見え方	相手に自分の登録名 が見える	グループ内で 自分の登録名が見える	登録者同士、 登録名は見えない	ルーム内で ニックネームが見える
費用	無料	無料	無料あり。配信数が増え ると有料を検討	無料
ひとことまとめ	個別に連絡する方法	関係者で相談する方法	多くの人へ届ける方法	地域で情報交換する方法



迷ったときは、まず「誰に届けたいか」「会話したいのか、お知らせを届けたいのか」で考えると選びやすくなります。

町内会・自治会で使いやすい3つ

目的に合わせて、使い方を選びましょう

1 グループトーク



役員や班長など、顔の見える関係の連絡に向いています。

役員連絡・行事準備・相談

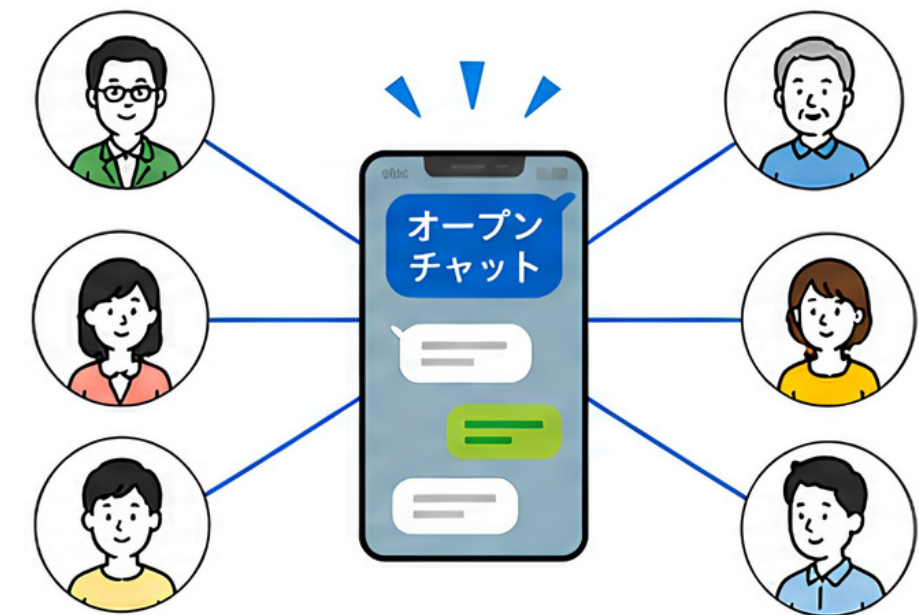
2 LINE公式アカウント



多くの人へ一斉にお知らせを届けるのに向いています。機能が充実しています。

⚠ 配信数が増えると有料プランの検討が必要

3 オープンチャット



友だち追加なしで参加でき、地域の情報共有に向いています。

地域情報共有・回覧の補助・交流



最初から全部使う必要はありません。自分たちに合う方法から始めてみましょう。

オープンチャットは無料で始めやすい

配信数に関係なく、無料で使えます



- ・ 友だち追加なしで参加できる
- ・ ニックネームで参加できる
- ・ 参加人数に余裕がある
- ・ 地域の情報共有に向いている
- ・ 配信数を気にせず始めやすい



注意点

無料で始めやすい一方で、
ルールづくりと管理体制が大切です。



『まず試してみたい』団体にも取り入れやすい方法です。

オープンチャットって何？

活用ガイドP15

友だち登録不要の“コミュニティ型”チャットルームです

LINEオープンチャットとは、友だち登録不要で参加できるトークルームです。
参加者同士がリアルタイムでやり取りできます。



1 情報共有



参加者は、他の参加者に向けて情報を発信することができます。

2 スレッド



特定のメッセージに対する返信を別の会話スペースでやり取りできます。

3 途中参加OK



途中から参加しても過去のやり取りや履歴を見ることができます。

4 ニックネーム参加



自分で決めたニックネーム（匿名）で参加できます。

5 ノート・アナウンス



重要なメッセージをピン留めしたり、まとめておくことができます。



町内会・自治会で使うなら、みんなに知って欲しい情報の共有から始めるのがおすすめです。

使う前に、良い点と注意点を覚えておきましょう

メリット

1 匿名でプライバシーが守られる

ニックネームとアイコンで参加でき、個人のLINEが特定されません。



2 無料で気軽に始められる・参加できる

友だち追加が不要で、すぐに参加できます。維持費もかからず、継続しやすいです。



3 過去の内容が見られる

途中から参加しても、過去のトーク履歴をさかのぼって読むことができます。



4 便利な機能がある (ノート、アナウンス、投票など)

大切なお知らせの共有や、意見を集めるのに役立つ機能がそろっています。



デメリット・注意点

1 誰が参加しているか分かりにくい

基本、匿名のため、誰が参加しているのか分からないことがあります。



2 ルールがないと混乱しやすい

自由に発言できる反面、ネガティブな発言やトラブルにつながる可能性があります。



3 重要なお知らせを見落とすことがある

参加人数が多いと、チャットの進行が速くなり、大切な情報が流れてしまうことがあります。



4 管理者の負担が大きくなりやすい

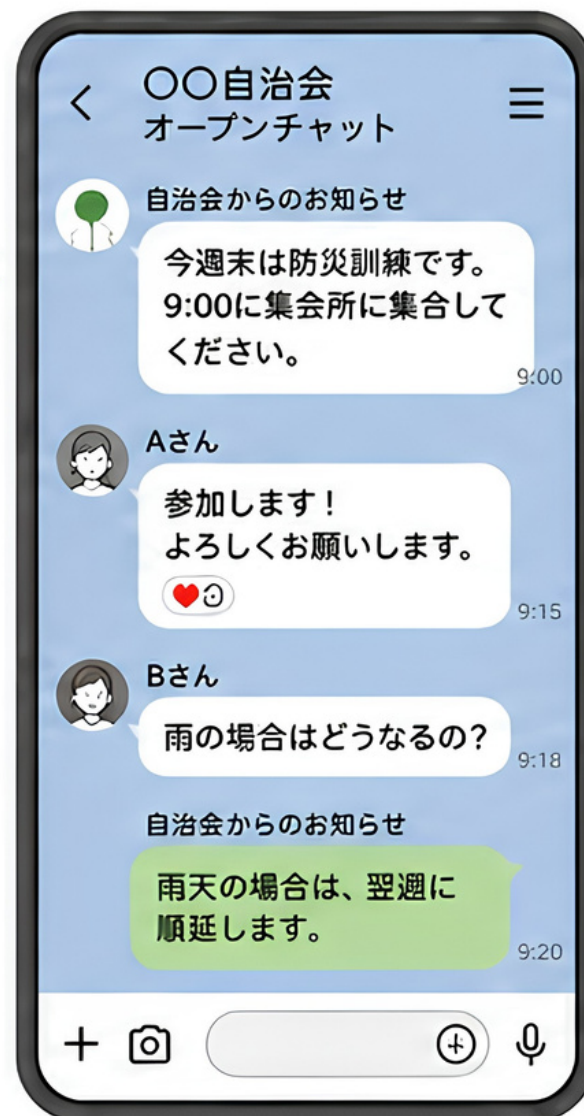
健全な場を維持するために、ルール設定や監視・対応などの負担が増えることがあります。



まずはルールを決めて、みんなに知ってほしい情報の共有から始めるのがおすすめです。

体験してみましよう

ローカル自治会のオープンチャットに参加します



- 実際に参加して、住民側の見え方を体験します
- トーク、ノート、アナウンスを見てみましょう
- どのように情報が届くかを確認します



このあと、みなさんのスマートフォンで実際に参加します。

参加方法

4ステップで参加できます

1

QRコードを
読み込む



配布資料やスクリーンに
表示されているQRコードを
スマホで読み込みます。

2

入室パスワードを
入力する



案内された入室パスワードを
入力し、「入室する」ボタンを
押します。

3

好きな食べ物を
ニックネームとして登録する



参加者がわかるニックネームを
入力してください。
(あとから変更もできます)

4

入室したら
ノートから
ルール&マナーを読む



入室後、トークルーム上部の
「ノート」からルール&マナーを
確認しましょう。



ニックネーム例：カレーライス / わらびもち



わからない場合は、会場でサポートします。

事例紹介トークセッション

成瀬殖産地区自治会 木下会長



実際の活用画面を見ながらご紹介

こんなことを伺います

- オープンチャットを始めた（選んだ）理由は？
- 運用メンバーは、何名体制ですか？
- 導入して良かったことを教えてください
- ツール活用の課題や問題点を教えてください
- 導入時の周囲の意見や反応はどうでしたか？
- その意見に対してどのように対応しましたか？



気になることがあれば、このあと情報交換の時間にもつなげていきましょう。